

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本事情	
科目基礎情報							
科目番号	0085			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科 (R2年度開講分まで)			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布						
担当教員	畑 薫里						
到達目標							
①日本社会で円滑な人間関係を築くために、日本人の発想や考え方について理解を深める。							
②変化の早い現代社会を生きる上での共通の問題を考える。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要	島国という地理的条件と厳しい自然環境や農耕民族社会が育んだ日本人独特のものの見方や価値観が、現代の日本語や日本人にどのように現れているかをさまざまな角度から考える。						
授業の進め方・方法							
注意点	日常の学校生活や日本人との交流の中で、時々感じるであろう違和感や疑問に対し、その背景にあるものを理解しようとする姿勢が必要 まとめテスト70%、課題作文30%として総合的に評価する						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	日本の文化 (1)		「縁起」とは		
		2週	日本の文化 (2)		「察し」の文化		
		3週	日本の文化 (3)		日本文化の起源		
		4週	日本の文化 (4)		「主張」の文化と「和」の文化		
		5週	日本人の行動様式 (1)		日本人のうなずき		
		6週	日本人の行動様式 (2)		日本人の宗教観		
		7週	日本人の行動様式 (3)		ウチとソトとヨソ		
	4thQ	8週	日本語の世界 (1)		日本人の「すみません」		
		9週	日本語の世界 (2)		オノマトペの使い分け		
		10週	異文化理解 (1)		文化の多様性		
		11週	異文化理解 (2)		言語と国民性		
		12週	生命と倫理 (1)		尊厳死という選択		
		13週	生命と倫理 (2)		脳死をめぐって		
		14週	まとめテストと課題作文				
		15週	まとめテストと作文の反省				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0